

災害から身を守るために

時津警察署

095-881-0110

「自助」と「共助」で「減災」を

大地震や豪雨などの自然現象は、人間の力では食い止めることができませんが、災害による被害は、みなさんの日頃の努力によって減らすことが可能です。

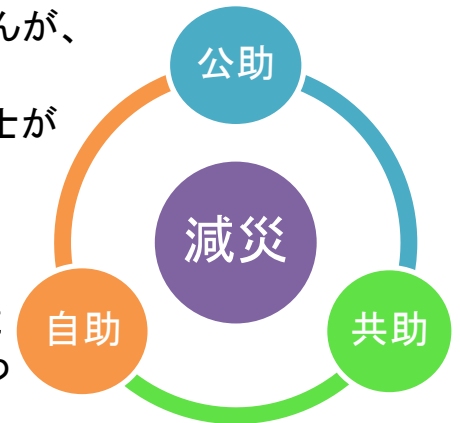
警察や自治体など行政による「公助」はいうまでもありませんが、

「自助」～ 自分の身は自分で守る

「共助」～ 自主防災組織など地域や身近にいる人同士が助け合う

こそが、災害の被害を少なくするための大きな力になります。

災害が起きてからでは間に合いませんので 平時から危機意識を持って「自分でできること」、「家族でできること」、「ご近所と力を合わせてできること」などについて考え、いつくるかわからない災害に備えておくことが大切です。



阪神・淡路大震災における生き埋めや閉じ込められた際の救助

自力で	… 34.9%	通行人に	… 2.6%
家族に	… 31.9%	救助隊に	… 1.7%
友人や隣人に	… 28.1%	その他	… 0.9%

(社)日本火災学会・「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」による

自助

命を守るための予防的避難

自助

安全に避難できるうちに避難を始める**予防的避難**という考え方があります。夜間の豪雨で身動きが取れなくなる前である、避難が容易な日中のうちに、指定された避難場所へ避難をするというものです。

2012年に夜間の集中豪雨で、死者行方不明者32名を出した九州北部豪雨を教訓に生まれた考え方です。



共助

自主防災組織について

共助



お互いに顔の見える関係である地域のみなさんが、日頃から一緒になって防災活動に取り組むための組織を「**自主防災組織**」と言います。実際に阪神・淡路大震災時には、地域住民が自発的に救出・救助活動をして被害の拡大を防ぎ、その後の復興にも大きな力を発揮しました。